

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	J-GREEN堺合宿所等整備事業建築	階数	地下1F 地上3F
建設地	大阪府堺市堺区築港八幡町	構造	SRC造
用途地域	工業専用地域、法第22条の指定地	平均居住人員	100人
気候区分		年間使用時間	4,000時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年2月 予定	評価の実施日	2011年8月12日
敷地面積	352,974 m ²	作成者	森 康郎
建築面積	3,012 m ²	確認日	
延床面積	5,684 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	83%
③上記+②以外の	83%
④上記+	83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.6

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.3)	Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.2)	Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 4.4)
音環境: 2.6 温熱環境: 3.1 光・視環境: 3.5 空気質環境: 4.0	機能性: 3.6 耐用性: 3.1 対応性: 2.8	生物環境: 5.0 まちなみ: 5.0 地域性: 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.2

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 2.9)	LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.5)	LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.3)
建物の: 1.0 自然エネ: 3.5 設備システ: 4.3 効率的: 3.5	水資源: 3.4 非再生材料の: 3.5 汚染物質: 3.6	地球温暖化: 3.6 地域環境: 3.0 周辺環境: 3.2

3 設計上の配慮事項

総合 建物を低層コンパクトに抑え、吹抜けやハイサイドライト、トップライト等自然光あふれる豊かな空間で構成した宿泊施設。	その他 0
Q1 室内環境 自然光を採り入れる工夫(トップライト、ハイサイドライト)、ゾーン別の空調制御、吹抜けを介した自然換気による空調負荷低減など。	Q2 サービス性能 きめ細かく事前にシミュレーションしたインテリア計画を行い、木素材を取り入れたり、活力を与えるポイントカラー配置等の工夫を行った。
LR1 エネルギー ハイサイドライトやトップライトによる自然光を最大限利用している。	LR2 資源・マテリアル 1、2階のウッドデッキや天井材の岩綿吸音板、タイルペットにリサイクル材を採用した内装計画。
Q3 室外環境(敷地内) 建物ボリュームを低く抑え、水平にのびやかな形態により、周辺環境に溶け込ませている。またデッキテラスなど、地域に開放した空間を設置している。	
LR3 敷地外環境 風環境のシミュレーションを事前に行い、周辺への影響を考慮(風環境とともに、サッカー競技への影響等)した配置計画としている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	J-GREEN堺 合宿所等整備事業建築工事	BEE	BEEランク A
	建設地	大阪府堺市堺区築港八幡町145番地	1.5	
	主用途/延床面積	ホテル / 5,684.21 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO₂削減	3	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	5	
安全快適な暮らし	3	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減		評価項目	スコア	評価点
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.6	3
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	1.0		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.5		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.3		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	3.5		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.4		
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	5.0	5
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	3.0	3
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	3.0	
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	4.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	